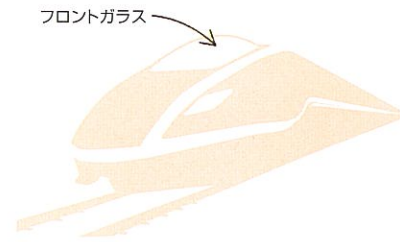


実は…富山って意外にスゴイ!

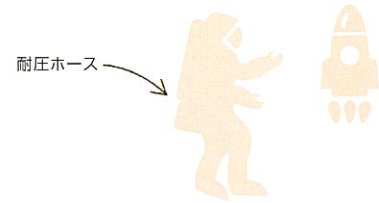
スゴイ!  
1 **オンリーワンの技術に注目!**

北陸新幹線新型車両W7系のフロントガラスは、2m×1.3m、厚さ26mmの「曲げ合わせガラス」。わずかなゆがみでも運転に支障をきたすため、3次元で曲げる高度な技術が活かされています。



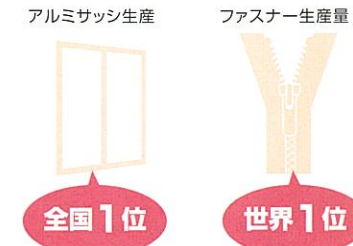
スゴイ!  
2 **宇宙でも活躍する技術!**

ホース業界では国内シェア70%。生産量はもちろんですが、その優れた技術力にNASAも注目。宇宙服の呼吸ホースに採用された耐圧ホースも、実は富山の企業の技術です。



スゴイ!  
3 **認知度もナンバーワン!**

アルミサッシは国内生産シェア第1位、ファスナー生産量は一社だけで世界シェア、ナンバーワン!  
富山の企業はスゴイんです。



スゴイ!  
4 **小学生はみんな使ってた!?**

販売シェアは全国1位。ランドセルに必ず入っていた「ジャポニカ学習帳」は富山県で生産しています。

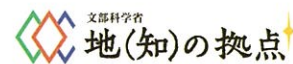


●ALL 富山COC+事業協働機関

- 【COC+参加校】 富山大学(COC+探検校)・富山県立大学(COC探検校)・富山国際大学(COC探検校)・富山短期大学(参加校)・富山福祉短期大学(参加校)・富山高等専門学校(参加校)・高岡法科大学(協力校)
- 【地方公共団体】 富山県・富山市・高岡市・魚津市・氷見市・滑川市・黒部市・砺波市・小矢部市・南砺市・射水市・舟橋村・上市町・立山町・入善町・朝日町
- 【企業等】 富山県商工会議所連合会・富山県機電工業会・YKK・インテック・北陸銀行・富山銀行・富山第一銀行
- 【地域メディア】 北日本新聞社・富山新聞社・読売新聞・富山テレビ放送

COC+事業

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」は、大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓するとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的としています。



富山大学 地域連携推進機構 地域連携戦略室

〒930-8555 富山市五福3190 学生支援・地域連携交流プラザ2F  
TEL 076-445-6177・076-445-6519 FAX 076-445-6033 t-senryaku@adm.u-toyama.ac.jp



リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

とやまで  
学ぼう。

育てます。未来のとやまをつくるひと。

COC+

Center of Community Plus

# 未来への一歩。 富山大学ではじめませんか。

## 学長MESSAGE

皆さんは富山の魅力をどこまで知っていますか？ 富山には、豊かな自然、食、文化があります。さらに、地元企業の持つ力は、他県に比べても大きいものです。世界の先端に行く「とんがった」企業もたくさんあります。富山で学び、富山で働き、富山で暮らすことは、魅力的で豊かな人生を送るための大きな選択肢ではないでしょうか。

富山大学では、富山の歴史・伝統・文化を学び、富山の企業の魅力や富山の持つ底力を理解し、地域課題を考え解決に資するため、地域と連携した授業・実習・インターンシップなどを用意し、皆さんの成長の機会にしたいと考えています。

今回のCOC+事業は、県内の教育・行政・企業等諸機関が協力し、地方創生に取り組む企画です。皆さんも富山大学に進学し、豊かな地域をつくり上げていく仲間の一になりませんか。私たちは、そんな皆さんをさまざまな形で応援しています。



富山大学長 遠藤 俊郎

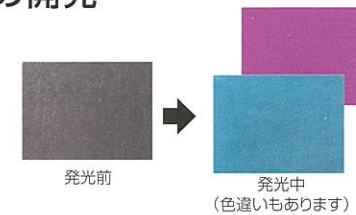
# 富山の学びは、富山で生かそう。

富山大学では、企業との共同研究や地域の課題に取り組む授業、学部の垣根を越えた体験授業等、地域と密接に関わったユニークな取り組みをしています。

## ●特色ある取り組み例

### 注目の研究

#### 発光する アルミニウム新合金 の開発



富山県のアルミ産業は、全国一の出荷額を誇る県の基幹産業の一つです。工学部の研究室では、従来よりも強く伸びるアルミニウム新合金や、発光粒子を加えることで発光するアルミニウム新合金を開発するなど、アルミニウムの可能性をさらに広げる研究を行っています。

### 地域連携教育

#### 駅づくりプロジェクト 「高岡HUB計画」



芸術文化をつくりつなげつなごころのための地域連携教育に取り組む芸術文化学部では、地域や地元企業と連携した様々なプロジェクトに参画。「高岡HUB計画」は地域連携による駅づくりプロジェクト授業で、まちの中心となる高岡駅への集客を拡大する施策と戦略を提案しています。

### 東西医薬学の融合

#### 医・薬学部の学生が 一緒に学べる授業



「和漢医薬学入門」は、基礎から臨床までの知識を体験的に学ぶ授業。医師・看護師・薬剤師・薬学研究者を目指す学生が同席し、一つのグループとして実習を行います。医学部と薬学部の学生が同じキャンパスで学べる環境は、東西医薬学の融合をテーマとする富山大学ならではの特徴です。

## 「地域科目」とは？

「未来の地域リーダー」を育てる教育プログラム。3つの分野でトータル132科目(平成28年度予定)があります。地域科目から4科目8単位以上修得すると、「未来の地域リーダー」の称号を付与します。

- 1 地域志向科目**  
(教養教育) 富山県に関する基礎的な要素を含む富山の歴史・経済・自然について学ぶ授業です。
- 2 地域課題解決科目**  
(専門教育) 企業や地域でのフィールドワークや、地方公共団体や企業からの課題に対する演習等を通じて、地域に密着して課題を解決する力を養う授業です。
- 3 地域関連科目**  
(専門教育) 富山県の歴史・生活・風土・環境等、地域の特性を基に展開する授業です。

## 富山大学の魅力は？

- 1 学びの舞台は富山県!**  
変化に富む大自然を背景にさまざまな伝統文化や歴史、産業が息づく富山県。この恵まれた地をキャンパスとしてとらえ、地域社会と連携しながらリアルな学びの場を提供しています。
- 2 地元就職に有利・便利!**  
地元の企業情報が手に入りやすく、企業訪問も容易です。富山を知る「未来の地域リーダー」となることも地元就職に有利です。
- 3 経済的なメリット**  
地元から通学ができる人はもちろん、県外からの人も、都市圏に比べて住居費や生活費等の負担が少なくて済みます。



## メッセージ MESSAGE

富山商工会議所 専務理事  
西岡 秀次 氏



新幹線時代の「とやま未来創生」の一翼を担う大切な人材は地元富山で学ぶ学生諸君であります！  
COC+事業は富山の大学生をはじめとする地域の若者の地元定着による地方創生を目指しています。

人口減少の大きな要因の一つに、若者の県外企業就職による流出があります。COC+構想では、若者の地元定着率を上げるためには、企業が地元学生の就職枠を設けるなど、地道な取り組みを始めております。このことが、活力ある富山の実現に向けて、ALL富山のメンバーが創出する地域イノベーションの肝であります。

そして、そのコアメンバーとなるのは貴方であり、学生諸君であります。

是非、「未来の地域リーダー」として、地元に着目して新しい富山のカたちを作って頂くことを期待しております。

北陸銀行 経営管理部 人材戦略室長  
武波 育宏 氏



当行が求める人材のキーワードは「Think Globally, Act Locally」。グローバルな視点を持ち、地域と深く関わりながら行動できる人です。

今、銀行は変化の時期を迎え、絶えず変化に対応できる資質も必要になってきます。ですから、大学でいろいろな経験を積んでいただきたい。学問は当然ですが、サークルやバイト、地域と関わるボランティアや海外留学もいいでしょう。人と人との関係づくりに磨きをかけ、コミュニケーション力をつけてほしいと思います。

最近、Uターン就職セミナーなどの参加者を見ると「働くならとりあえず地元で」ぐらいの「こじんまり」した印象が拭えません。富山には世界と勝負できる企業がたくさんあるのに残念なことです。どこの大学に進んだとしても、成果をぜひ富山で還元してもらいたいと強く思いますし、当行としては「富山を変えてやる」ぐらいの気概を持った人、大歓迎です。